

# 南丹市子どもの貧困対策整備計画実態調査（概要版）

## I 調査概要

### 1. 調査の目的

本調査は、2020～2024 年度を計画期間とする「南丹市子どもの貧困対策整備計画」策定の基礎資料とするため、ご家庭とお子さんの生活の状況や市の取り組みへのご意見をお聞かせいただくことを目的として実施したものです。

### 2. 調査の種類と実施方法

本調査においては、対象者別に次の3種類のアンケート調査を実施しました。

<input checked="" type="checkbox"/> 保護者向け <input type="checkbox"/> 子ども向け	就学前					小学生						中学生			高校生	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		14
①小学生調査 (5・6年生)											●	●				
②中学生調査 (1～3年生)													●	●	●	
③生活保護・ひとり親世帯調査	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■						■

※調査基準日：平成30年12月31日

(1) 南丹市子どもの暮らしの様子アンケート（子ども用アンケート）

学校でアンケートを配布・回答し、学校で回収する。

(2) 南丹市子どもの生活状況アンケート（保護者用アンケート）

学校から子どもが自宅に持ち帰り、保護者は自宅でアンケートに回答し、郵送により提出。

調査期間：平成31年1月28日～2月18日（一部の学校のみ3月1日まで実施）

(3) 南丹市子どもの生活状況アンケート（ひとり親家庭・生活保護受給世帯用アンケート）

郵送による配布・回収。

調査期間：平成31年2月1日～2月18日

### 3. 配布と回収状況

調査票の配布と3月6日時点の回収の状況は次のとおりです。

	配布数	回収数	回収率
① 子どもの生活実態調査	1,170 票	1,127 (うち白票 19 票)	96.3%
② 保護者調査	1,170 票	602 (うち白票 0 票)	51.4%
③ 生活保護・ひとり親調査	164 票	63 票	38.4%

## 2 調査結果

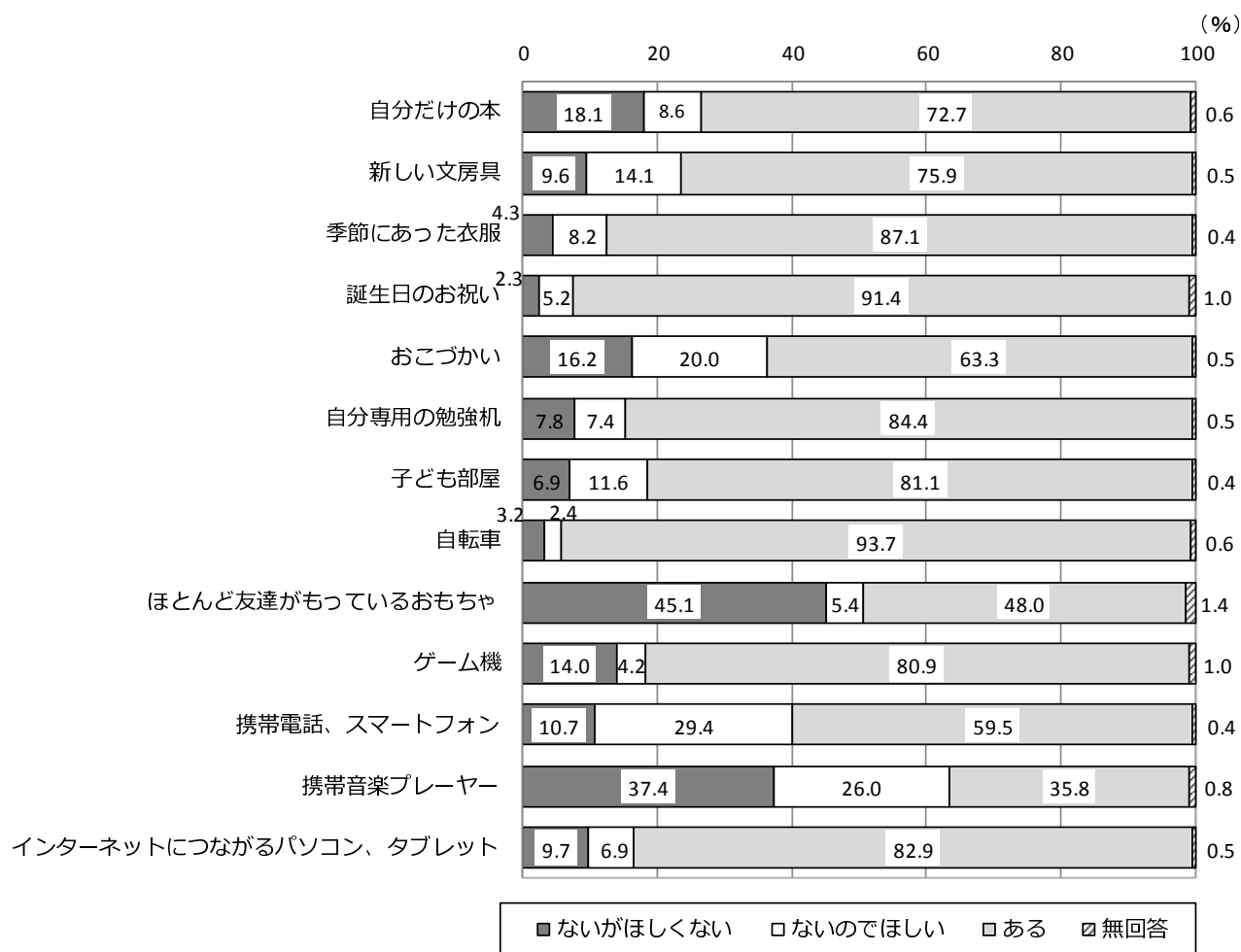
### 子どもの生活・学習習慣について

次の中に、あなたが持っている物やあなたの気持ちにあてはまることがありますか。

(それぞれ1つに○)

#### 【子ども（問6）】

- ・持っている物について「ある」の割合が最も多いのは「自転車」で93.7%、次いで「誕生日のお祝い」が91.4%となっています。
- ・逆に少ないのは、「携帯音楽プレーヤー」で35.8%、「ほとんどの友達を持っているおもちゃ」が48.0%等となっています。



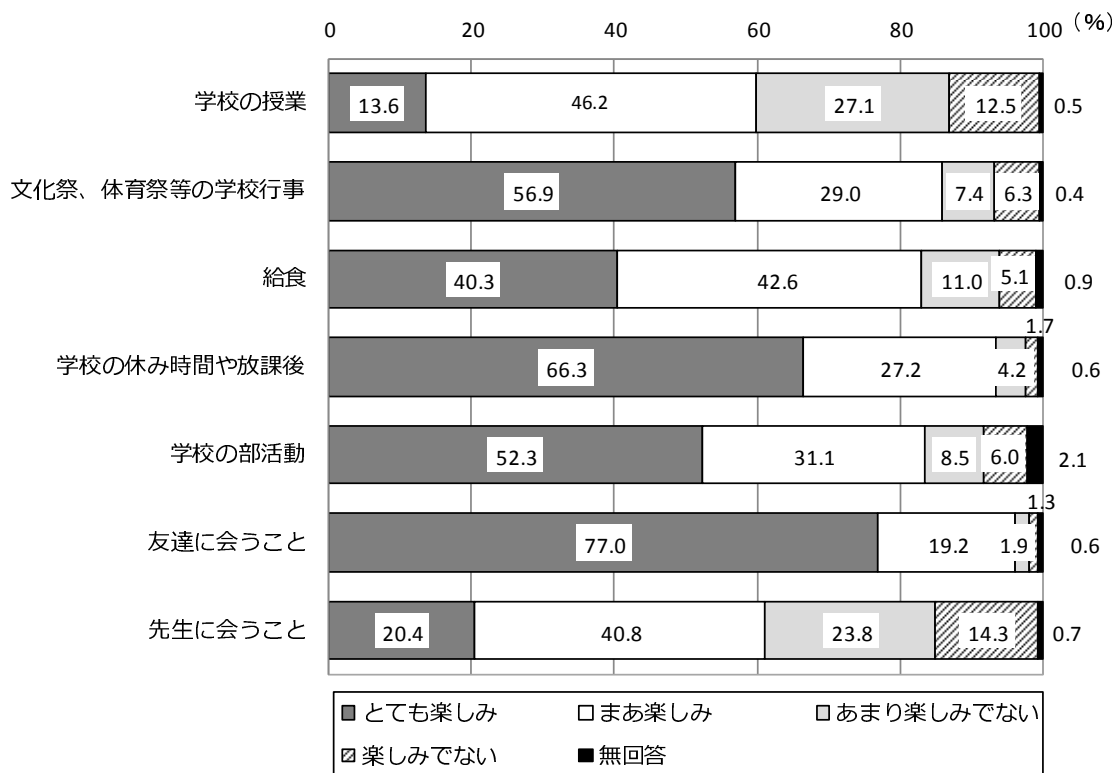
n=1,108

## 【子ども（問 14）】

あなたが学校生活の中で、楽しみにしていることについて教えてください。

（それぞれ1つに○）

- 学校生活での楽しみについて、「とても楽しみ」が最も多いのは「友達に会うこと」で77.0%、次いで「学校の休み時間や放課後」が66.3%、「文化祭、体育祭等の学校行事」が56.9%となっています。

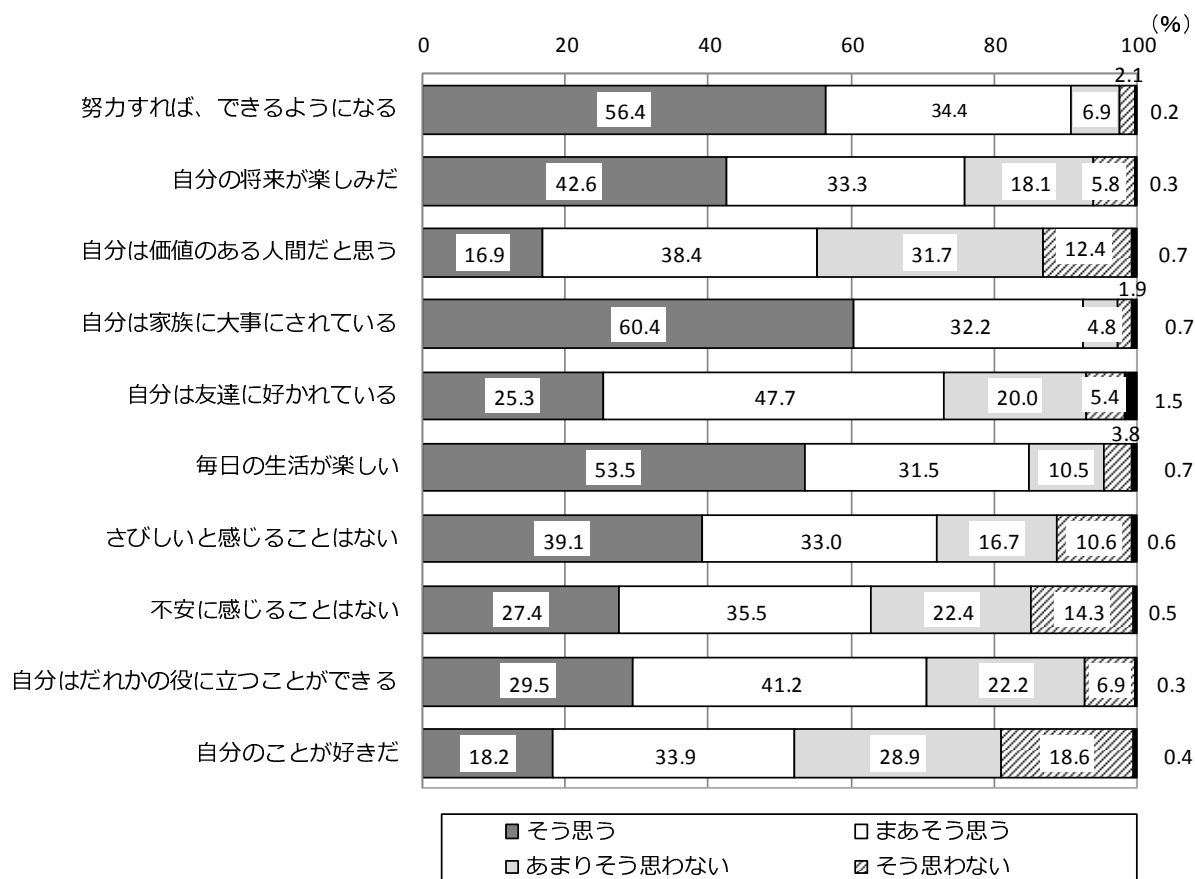


n=1,108

## 【子ども（問 15）】

あなたがふだんの生活で感じていることについて、教えてください。（それぞれ1つに○）

- ・日常生活の中で感じていることについて、「そう思う」という肯定的感想が多かったのは「自分は家族に大事にされている」が60.4%、「努力すれば、できるようになる」が56.4%、「毎日の生活が楽しい」が53.5%等となっています。



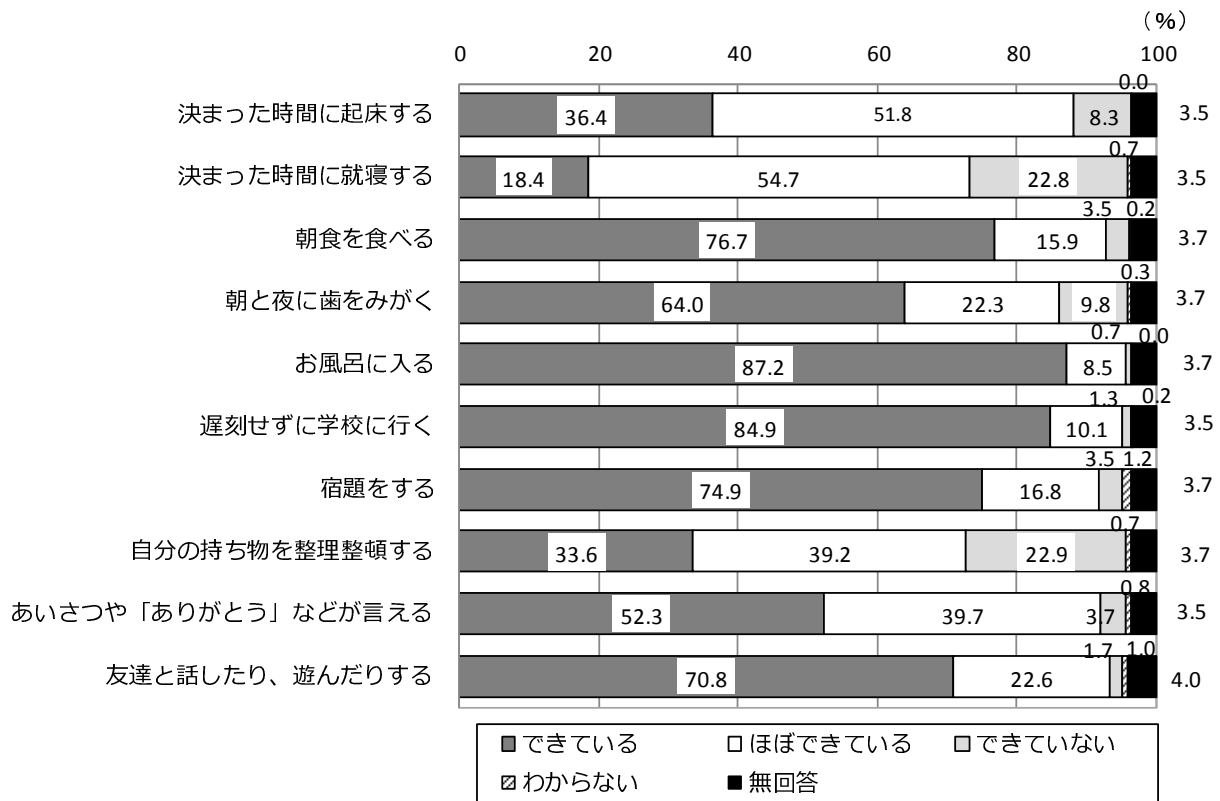
n=1,108

お子さんの基本的な生活・学習習慣について、各項目の状況をお答えください。

(それぞれ1つに○)

【保護者（問 13）】

- ・生活・学習習慣の状況についてみると、「できている」が多いのは“お風呂に入る”が87.2%、“遅刻せずに学校へ行く”が84.9%等で、これらを含め、10項目中の7項目で「できている」が50%以上となっています。
- ・「できている」が50%未満の項目は、“決まった時間に起床する”が36.4%、“決まった時間に就寝する”が18.4%、“自分の持ち物を整理整頓する”が33.6%の3項目となっています。



n=602

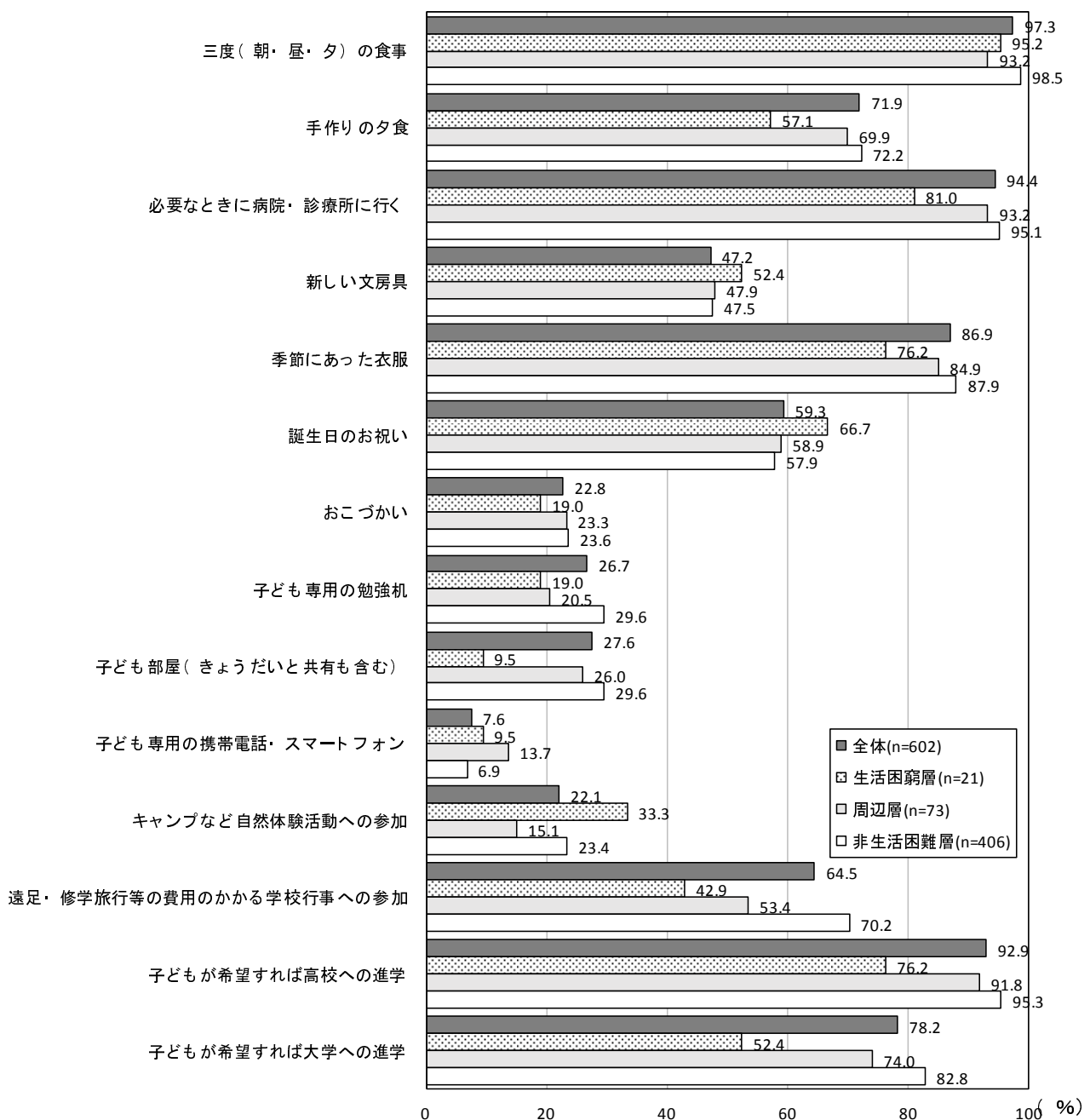
## 子どもを取り巻く環境・モノについて

次のような環境・モノについて、子どもにとって必要であると思いますか。

(それぞれ1つに○)

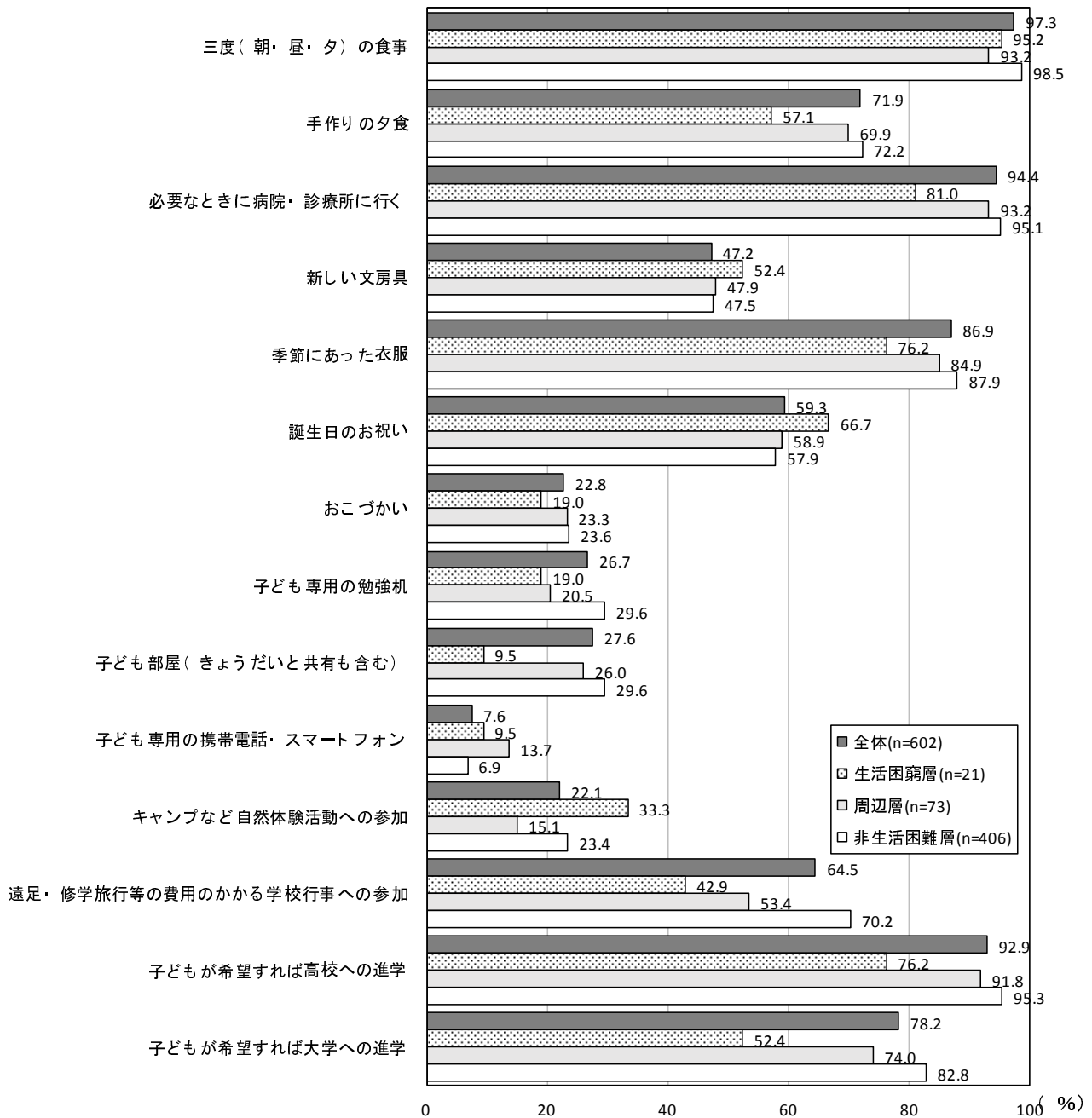
### 【保護者（問17）】

- ・子どもにとって必要な環境・モノについて、「必要である」と考える割合をみると、“非生活困難層”に比べ“生活困窮層”が高いものは、「新しい文房具」、「誕生日のお祝い」、「子ども用の携帯電話、スマートフォン」「キャンプなど自然体験活動への参加」の14項目中4項目となっています。
- ・その他の項目は、“非生活困難層”に比べて“生活困窮層”“周辺層”の順で全体的に低くなっています。



## 【ひとり親等（問 10）】

- 子どもにとって必要な環境・モノについて、「必要である」と考える割合をみると、“非生活困難層”に比べ“生活困難層”が高いものは、「新しい文房具」、「誕生日のお祝い」、「子ども用の携帯電話、スマートフォン」「キャンプなど自然体験活動への参加」の 14 項目中 4 項目となっています。
- その他の項目は、“非生活困難層”に比べて“生活困難層”“周辺層”の順で全体的に低くなっています。

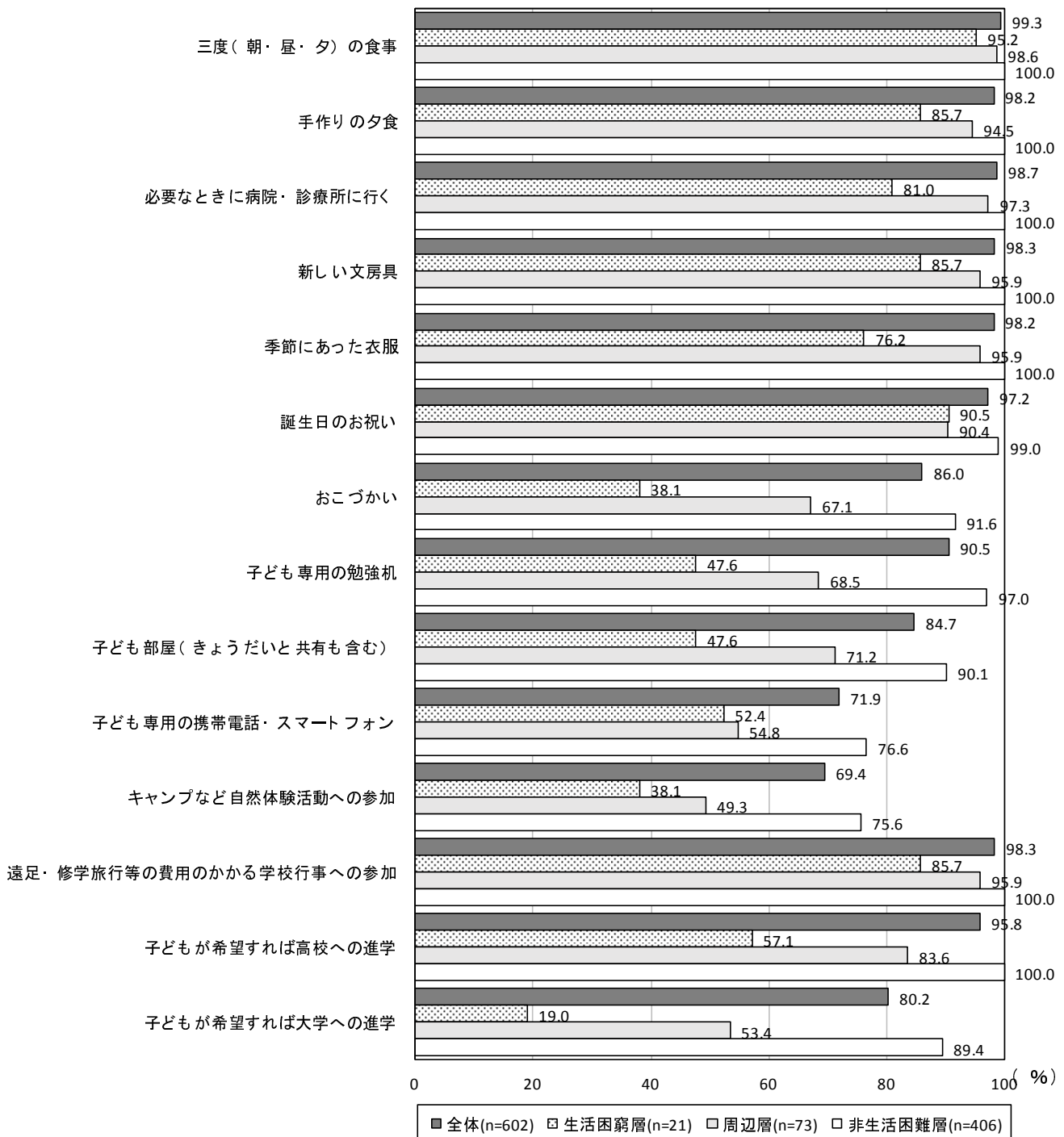


**問 18 次のような環境・モノを与える場合、あなたの家庭では経済的理由によりお子さんに与えられていないものや与えられそうにないものがありますか。**

(それぞれ1つに○)

**【保護者（問 18）】**

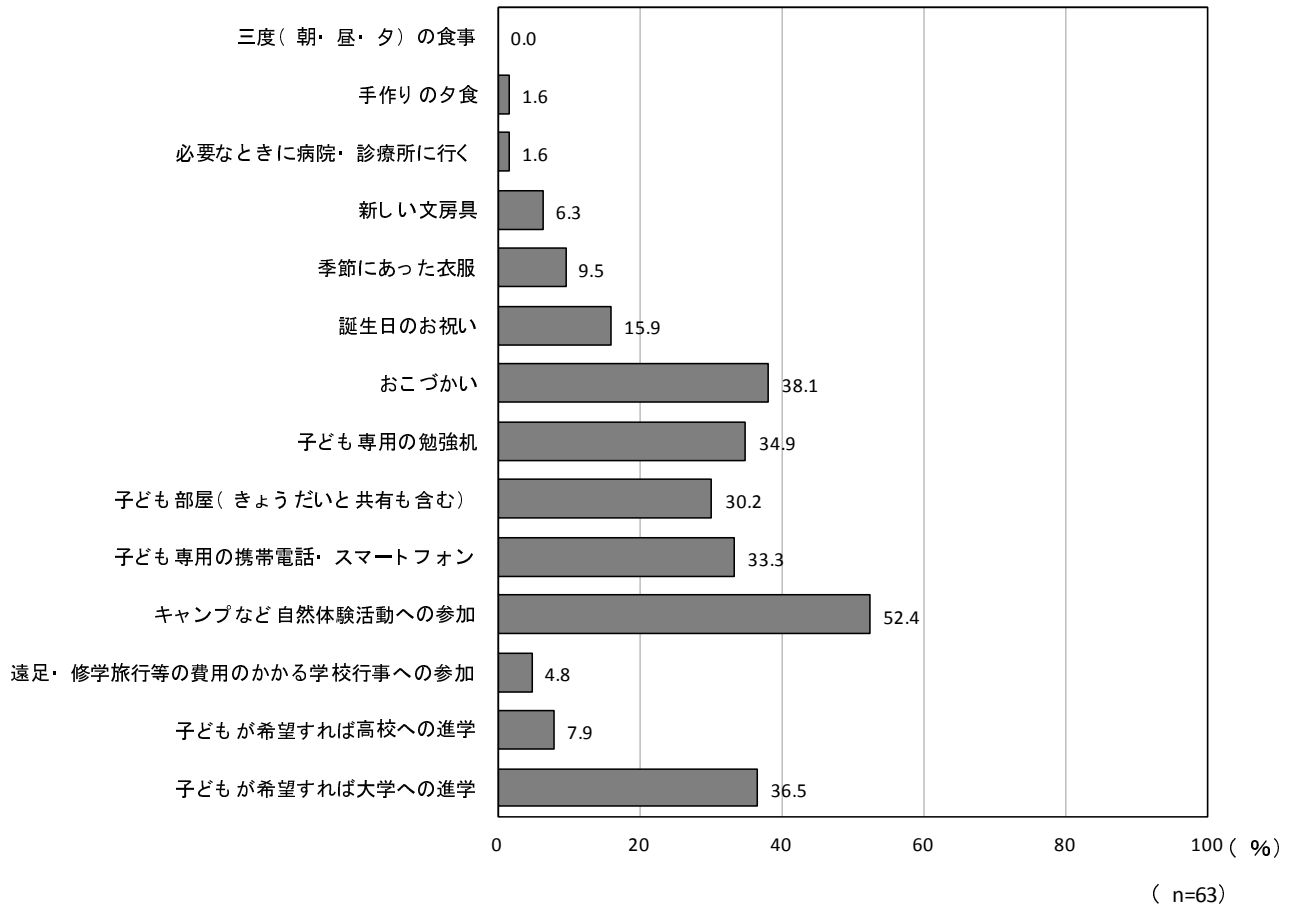
- お子さんに与えられている環境・モノについて、「与えられている・与えられる」割合をみると、“生活困窮層”に比べて“非生活困難層”の方が総じて高いことがわかります。
- “生活困窮層”における「大学等への進学」の19.0%、「キャンプなど自然体験活動への参加」と「おこづかい」がそれぞれ38.1%等、低いことが目を引きます。





## 【ひとり親等（問11）】

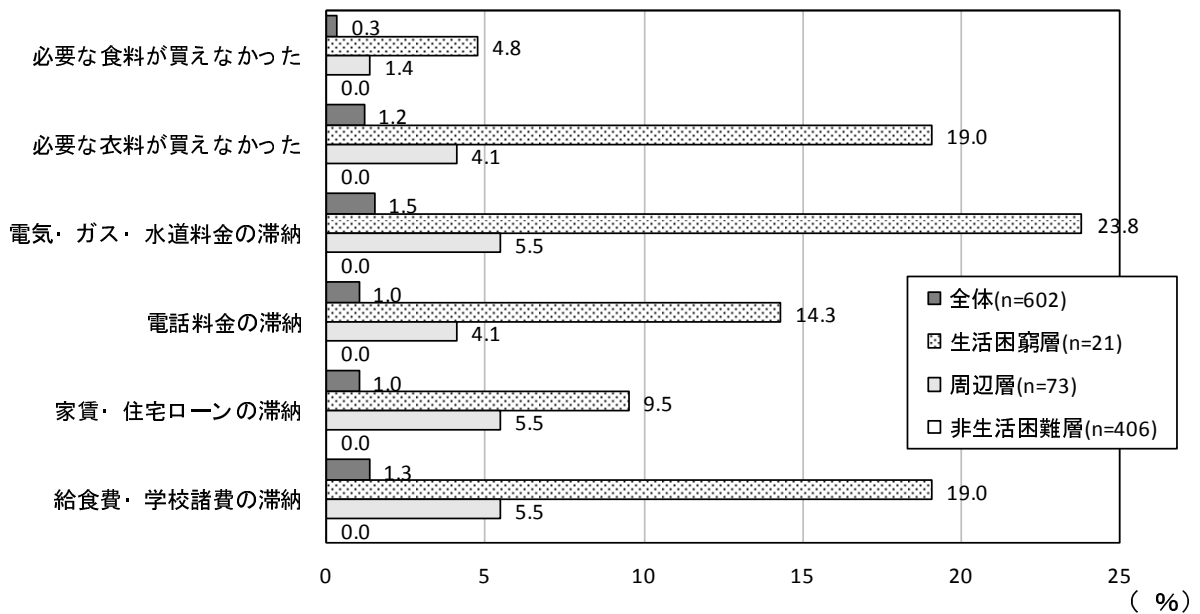
・子どもにとって必要な環境・モノについて、「与えられていない・与えられそうにない」と考える割合をみると、「キャンプなど自然体験活動への参加」が52.4%で最も多く、次いで「おこづかい」が38.1%、「子どもが希望すれば大学への進学」が36.5%の順となっています。



あなたの世帯（家庭）では、過去1年間に、経済的な理由による次のような経験がありましたか。（それぞれ1つに○）

【保護者（問 19）】

・経済的理由による困窮経験について、「頻繁にあった」割合をみると、“生活困窮層”では、特に「電気・ガス・水道料金の滞納」が23.8%、「必要な衣料が買えなかった」と「給食費・学校諸費の滞納」がそれぞれ19.0%と多いことが目を引きます。



※ “非生活困難層”ではすべての項目で0.0%（まったくない）となっていますが、これは1項目に“頻繁にあった”場合、“生活困窮層”や“周辺層”としているためです。

【ひとり親等（問 12）】

・経済的理由による困窮経験について、「頻繁にあった」割合をみると、「電気・ガス・水道料金の滞納」が7.9%で最も多く、次いで「必要な衣料が買えなかった」が6.3%となっています。

